

\\ コミュニティFMの役割とは? //

地域密着

情報が集まる『地元の放送部』みたいな場所



神田 今起こった情報をすぐに共有できると、それだけで深い共感を得られますよね。地域に根差したラジオ局として、リスナーとそういうつながりを築いていくことはすごく大事な気がします。

高橋 コミュニティFMは、地域の放送部のような位置付けなのかなって。部活じゃないですけど、ボイス・キューは、函南町と三島市の放送部という意識で取り組んでいます。

尾原 即時性もありますね。リスナーからメールで農産物直売所で「こんな野菜が出始めたよ!」とか「今日はこんな富士山見えたよ!」とか、地元の今の情報をたくさんいただきます。

神田 コミュニティFMは、その市町村の情報が集まってくる場所だと思っています。ネットで調べても出てこないようなディープな情報がたくさん集まります。

住民参加

誰でも気軽に参加できるメディア



神田 さまざまな人に『関わってほしい』『出演してほしい』と言うのは共通の思いですね。

尾原 ラジオは、選ばれた人しか出れないみたいな感覚がありますが、コミュニティFMは、何か伝えたいことがある誰でも参加できる機会がありますね。出演でなくても、メールを送ることも番組参加になります。

神田 知り合いの数珠繋ぎ方式ですね。うちも消防団員やお店をオープンした人など身近な人が多いです。

高橋 さまざまですが、最近は前週にゲストに来ていただいた人の紹介で、三島でコンサートをする演奏家に来ていただきました。誰かの知り合い経由でゲストが決まってくることが多いです。

尾原 番組のゲストは、どんな人をお呼びしていますか?

防災・災害

災害から『情報と声』で命を守る



神田 消防士や警察官、自衛隊は物理的に命を守ってくれる存在ですが、私たちラジオ局は、情報と声で皆さんの命を守る使命があると思っています。

高橋 災害時だけでなく、普段から防災に対する意識のアップデートが必要ですね。そのために防災・災害の番組はレギュラー放送しています。

尾原 能登半島の地震でも電気の寸断、電話の不通、道路事情の悪化などで、情報が届きにくい状況が実際に起きています。そういった分断された状況の中で、コミュニティFMは、地域の情報伝達の最後の砦になる可能性がありますね。

神田 災害時には電気が貴重になるので、スマホを使い続けることができません。そんな時、ラジオは乾電池1本あれば聴くことができます。地域に詳しいパーソナリティが、災害状況や避難場所についても伝えることができます。一家に一台、防災ラジオを用意してほしいです。

聴こう! 参加しよう! コミュニティFM



伊豆地域のコミュニティFM3局のパーソナリティにコミュニティFMの役割と存在意義などについて教えていただきました。お住まいの地域や近隣のコミュニティFMを聴いてみませんか?

コミュニティFMのことを教えてくれる人



エフエムイズ (伊豆市)

おばら 尾原むつみ (パーソナリティ)

伊豆の国市在住。伊豆の国市劇団いず夢劇団員。あだ名は『むっちゃん』。



FMいずのくに (伊豆の国市)

かんた ういすけ 神田凌介 (局長・パーソナリティ)

伊東市在住。『マイクラフト』で伊豆の観光施設を再現中。伊豆の国市の反射炉も鋭意制作中。



ボイス・キュー (函南町・三島市)

なかほし あや 高橋亜矢 (パーソナリティ)

三島市在住。ボイス・キューでのパーソナリティ歴20年。趣味は時代劇と2時間サスペンス鑑賞。



3つのラジオ局からパーソナリティが集まり、ラジオ収録風に座談会を行いました。

地域に密着したローカル情報と防災情報を届けるメディア

尾原 コミュニティFMって一体なんだろう? どんな役割を担っているのでしょうか?

神田 コミュニティFMとは、FM放送の周波数を用い、市区町村単位の狭い地域を放送エリアとして、限られた地域に向けて行うラジオ放送です。通常のFM放送と比較して放送範囲

が狭いので、地域に根差したローカルな情報配信が中心になります。

高橋 コミュニティFMの主な役割は、『地域密着』『住民参加』『防災・災害』の3つです。

地域性の高い情報発信と、住民の皆さんに参加していただくことで、地域の活性化を目的としつつ、地震や台風などの自然災害時にきめ細かな情報を発信することが大きな役割です。



神田 コミュニティFMは、全国各地に341局(令和5年12月時点)あり、大規模自然災害が増え続ける中でコミュニティFMの開局を検討する自治体や地域の企業が増えています。

尾原 自然災害時に緊急の放送を聴いてもらうために、平時から番組を聴いてもらえるよう、地域に密着して楽しくするために番組作りが大事になりますね。

それでは、『地域密着』『住民参加』『防災・災害』、3つの役割について詳しく考えていきたいと思います。

コミュニティFMってなんですか?

87.7 MHz FM いずのくに

元気起爆 Radio!
市民と街の活力を創造し、Happy な情報を発信!

番組にメールを送ろう

877@fmizunokuni.jp

伊豆の国市のコミュニティ FM ラジオ局。市民とまちの元気創造に欠かせない、市民一人ひとりの安全、安心、快適な暮らしに必要な情報を発信します。



スタジオは、葦山時代劇場内にあります



番組収録風景

NEWS

大学生とのコラボ番組

静岡県立大上原ゼミの学生たちと市内紹介番組を制作中。近日放送、ご期待!

神田 FM いずのくにのおすすめ番組を紹介! 最初は防災番組『防災スイッチ』。防災情報を発信しており、伊豆の国市役所内に災害時に放送できる場所があり、いざ災害が起きた時に、その機材をちゃんと使えるかどうかの確認も兼ねて放送しています。

次は、地域密着番組『いずのくににコミュっと!』。市民団体さんをゲストにお迎えして、話を聴く番組です。イベントを開催する団体や、地域の歴史を研究している団体が、身近だけど全然知らなかった話をしてくれます。ぜひ聴いていただきたい内容ばかりです。

最後に、市民参加番組『包丁を捨てよ、飲みに出よう!』。料理をしながら女性に寄り添う、包丁を捨てて、このまま飲みに行きましょう!というのがコンセプトです。内容はシンプルで、おいしいスイーツのお店や飲食店などを紹介する番組です。

この番組の面白いところは、番組終了後にパーソナリティが必ず飲みに行くことです。パーソナリティとお店が遭遇して、「ラジオ聴きました」と言うと、1杯おごってくれます。

番組から行動へ促す仕掛けづくり。地域密着だからできる、リアルな関係づくり。

高橋 斬新な番組! 知っているけど入ったことないお店はたくさんあるので、行く機会を与えてくれるのは良いですね!

おすすめ番組はこちら

防災 月に1度のスイッチオン

『防災スイッチ』

毎月第1月曜日12時~(15分間)
毎月第1木曜日18時~(再放送)

災害時、いざという時はどうしたらいい? 知っているつもりで意外と知らない防災のあれこれを、市役所危機管理課の職員が教えます。

地域密着 キラリと光る団体、紹介します

『いずのくににコミュっと!』

毎週火曜日13時~(30分間)
毎週土曜日17時~(再放送)

子育て、防災、地域活性などさまざまな分野でまちづくり活動をしている市民団体にお話を伺う『市民が主役』の番組。広報いずのくにの連載記事との連動企画。

市民参加 あなたを飲み連れに出します

『包丁を捨てよ、飲みに出よう!』

毎週水曜日17時30分~(30分間)

伊豆に暮らす女性・伊豆を愛する女性のために、有益な情報と快適な空間をお届け。今年は、伊豆で行われる国際自転車イベント『エロイカジャパン』も応援。

87.2 MHz エフエムイズ

『市民に信頼』され『市民の生活を豊かにする』ための情報発信基地!



みらいずステーション

番組にメールを送ろう

872@fmis.jp

伊豆市のコミュニティ FM。4つの送信所をもち、市内80.4%の世帯をカバー、自主制作・地域の情報に重きを置き、防災・地域活性の役割を目指した情報発信をしています。



修善寺駅から徒歩1分



『ぼくの夢 わたしの夢』収録風景

NEWS

10周年記念イベント開催!

リスナーや市民の皆さんに感謝を伝え、次の10年に向けて一緒にお祝いをしました。

尾原 エフエムイズのおすすめ番組を紹介! 最初は防災番組『防災119』。伊豆市役所の危機管理課の担当者を招き、伊豆市に関わらず、全国の災害についてや時節に合わせた話題を放送しています。

次は地域密着番組『どこい区?ここい区!』。伊豆市には、126の行政区画があり、パーソナリティが行政区画全てが書かれたくじを引く、そこに書かれた区からリポートをします。私の経験として、区民が30人に満たないような小さな区へ行った時、生放送中に噂を聴きつけた近所の人から、「ラジオが来たぞ」とゾロゾロと集まり、結果的に一番出演者が多

足で稼ぐ番組作りが得意。現場に向き、地域の人と交流して番組を作る。

い回になりました。実際に現場に向くと、予期せぬ交流が生まれるので楽しいです。

神田 現場に向くって大事ですね。台本のない交流も素敵です。

尾原 市民参加の番組としては、『ぼくの夢 わたしの夢』があります。市内の子ども園・保育園の年長さんに将来の夢を発表してもらいます。お子さんが出演するということで、初めてラジオを聴いたという親御さんも多くいます。この番組はラジオを聴くきっかけにもなっています。

おすすめ番組はこちら

防災 地域で生きる防災情報

『防災119』

毎週金曜日18時~(約15分間)
毎週日曜日12時~(再放送)

伊豆市危機管理課担当者が消防・防災の情報をインタビュー形式でお伝えする番組。時節や行政関連の防災に関する細やかな情報を発信しています。

地域密着 市内全126区から中継

『どこい区?ここい区!』

毎週火曜日12時15分~(約15分間)
毎週土曜日14時45分~(再放送)

伊豆市にある126区から毎週くじ引きで決めた地区に赴き、現地から電話中継します。現地の様子や避難所情報、名所や歴史など各地区に関する情報を発信!

市民参加 こどもたちが元気に発表

『ぼくの夢 わたしの夢』

5月~11月頃放送
平日18時30分~(約5分間)
毎週日曜日(5分)18時30分~(再放送)

5歳の子どもたちに自分の夢を発表してもらおう番組。今の子どもたちが将来なりたい『夢』を子どもたち自身に発表してもらっています!

\\ コミュニティFMのこれから //



エフエムイズ (伊豆市)
パーソナリティ尾原むつみさん

ラジオは市民のつながりを作るきっかけになれる

尾原 エフエムイズに勤めて、驚いたことは、知らない間にリスナーさん同士がつながっていること。元々、知り合いではなく、ラジオきっかけでつながってくれてる人がたくさんいることです。

コミュニティFMは、地域の情報や防災の情報を発信することが大きな役割です。ただ、それだけでなく、実際に市民のつながりを作るきっかけにもなれることがわかりました。個人としても局としても、そこを伸ばしていけたらなと思います。

そのために、皆さんに聴いていただき、メールやゲストという形で参加していただいて、楽しんでいただけたらうれしいです。

ラジオの魅力が伝われば若いリスナーは増える

高橋 地域の若い人たちがこんな風に頑張ってるんだよという番組をもっと作りたいです。

ラジオは、どちらかというと年齢の高い人向けと捉えられがちです。ただ、若い人にも聴いてもらえれば、ラジオならではの双方向性のある魅力、身近な話題であふれている魅力に気付いてもらえると思っています。

先日、職業講話で地元の小学生にラジオのことを伝えるに行く機会がありました。ペンネームやメッセージ、リクエスト曲を考える体験をしてもらいました。みんな初めての経験で、とても楽しんでくれました。ラジオは誰でも楽しんでももらえるポテンシャルは絶対にあると思います。



FMいずのくに (伊豆の国市)
局長・パーソナリティ神田凌介さん

ラジオを聴いてもらうきっかけ作りを進めたい

神田 自分の地元でコミュニティFMがあることを知ってもらいたいです。一度でもいいから、聴いてもらいたいです。今はさまざまな娯楽やストーリーミングサービスがあるので、365日ずっと聴いてもらえなくてもいいんです。

ただ、一度聴いたことがあることで、災害時などいざという時に皆さんに役に立つ情報をラジオから発信していることを思い出してもらえればいいんです。

そのためには、やはり聴いてもらうための仕組みを考えることが必要です。

ラジオと住民の皆さんの間に信頼関係を築き、さまざまなメディアの中から選ばれる存在になるように毎日の放送を積み重ねていきたいです。

77.7 MHz ボイス・キュー

地域にピタッと! ボイス・キュー
函南・三島エリアの皆様にピタッと寄り添う情報をお届け!



番組に
メッセージを
送ろう

函南町・三島市のコミュニティFM。1997年創設の開局27年!
地域に根差した情報発信ステーションとして考え、ハートを発信するラジオ局。



スタジオは、三島市役所大社町別館内にあります



番組収録風景

NEWS

高校野球も放送!

三島・函南エリアで活躍中の人を紹介したり、夏の高校野球・地元学校の試合放送など地元の話題盛りだくさん!

高橋 ボイス・キューのおすすめ番組を紹介します。

まずは防災番組『防災NOW』。月曜日から金曜日まで、お昼と夕方の番組帯で5分の番組をやっています。水害の時はこれを持って逃げようとか、防災士にわかりやすく短くまとめたいただき実践的なワンポイントアドバイスを行います。

尾原 防災意識は毎日の意識の積み重ねが大事だと思いますので、平日毎日2回放送は良いですね!

高橋 市民参加番組『Lounge Cue』。月曜日から木曜日までの夕方帯で3

時間の生放送です。毎回テーマを設けて、メッセージを寄せていただき、リスナーさんと一緒に作り上げている番組です。

また、夕方という時間帯もあり、車の中で聴いている人や何か作業しながら聴いている人が多いので、音楽をたくさん流して日常のBGMになるような番組作りをしています。

最後に、地域密着番組『WEEKEND ナチュラル』。地域に密着した地元の楽しい話題を放送したり、県をまたいでFMおだわらとコラボもしています。県外の人に函南・三島エリアをPRする場にもなっています。

毎日5分のワンポイント防災情報。
夕方は仕事帰りを癒す日常のBGM。

おすすめ番組はこちら

防災

『防災NOW』

月～金曜日 12時30分～(5分間)
16時55分～(5分間)

静岡県防災士・玉木貴さんによる役立つ防災情報を、分かりやすくワンポイントアドバイス! 5分間の防災コーナーです。

市民参加

『Lounge Cue』

月～木曜日 16時～19時

【月・水担当: 荻田容子】
夕方に癒しの時間をお届けします。ほっと安らぎのひとときを♡
【火・木担当: 高橋亜矢】
日常のBGM化を目論む番組。皆さんのメッセージが番組の肝!

地域密着

『WEEKEND ナチュラル』

土曜日 9時～12時

土曜日の朝! 週末情報いっぱいこの番組でお楽しみください。映画&ランキングコーナー、メッセージ紹介など、岡本真由美の軽い暴走にくすくす笑っていただけたら幸いです♪

\\ 公開収録のお知らせ //

伊豆地域コミュニティFM3局『令和6年能登半島地震チャリティ番組』

3月20日(水) 9時～12時

場所: 道の駅 伊豆ゲートウェイ函南

エフエムイズ、FMいずのくに、ボイス・キュー3局のパーソナリティが集結し、公開収録を行います! ぜひ、参加してみませんか?

田方広報研究会とは: 伊豆市・伊豆の国市・函南町・JAふじ伊豆・伊豆保健医療センターの各広報担当で構成された、広報紙の進展とその適切な調整を図ることを目的とした研究会です。

\\ アプリでラジオ //

防災通知機能付ラジオアプリ

『Radimo (レディモ)』

このアプリでラジオを聴けます。災害情報など地域に必要な情報を、通知でリアルタイムにお届けします。



▲ダウンロードはこちら